

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2023年3月1日
野村不動産ホールディングス株式会社

リリースカテゴリ

サステナビリティ

環境省主催 第4回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」において「環境サステナブル企業」に選定 ～環境課題に関する中期戦略、気候変動に関する取組み等が評価～

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役社長：沓掛 英二、以下「当社」）は、このたび環境省主催の第4回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門において、「環境サステナブル企業」に選定されましたのでお知らせいたします。



<「ESG ファイナンス・アワード」【環境サステナブル企業部門】概要>

<https://www.env.go.jp/policy/award.kigyobumon.html>

「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」は、環境省が2019年度より創設した表彰制度で、ESG金融または環境・社会事業に積極的に取組み、インパクトを与えた機関投資家、金融機関、仲介業者、企業等について、その先進的取組み等を広く社会で共有し、ESG金融の普及・拡大につなげることを目的としています。

その一部門である環境サステナブル企業部門は、重要な環境課題に関する「リスク・事業機会・戦略」、「KPI」、「ガバナンス」の開示充実度を業種別特性も考慮して評価・選定されており、当社を含め、51社が選定されました。


当社グループでは、2050年のありたい姿としてサステナビリティポリシー「Earth Pride-地球を、つなぐ-」を策定しました。2030年までに特に取り組むべき重点課題として、環境面では「脱炭素」、「生物多様性」、「サーキュラーデザイン」の3つを掲げ、特に気候変動への対応として当社グループの開発建物における「省エネルギー」「事業の低炭素化」「再生可能エネルギー転換」によるCO2総排出量の削減を事業とサステナビリティ一体で推進しています。

また、資金調達面においては、2026年3月期までに総額2,000億円のサステナブル・ファイナンスの調達を目指し、2021年7月に国内初となる「包括型SLLフレームワーク」に基づくサステナビリティ・リンク・ローン^{※1}やサステナビリティボンド、DBJ健康経営格付融資（最高ランクの格付取得）などの多様な手法を実施してまいりました。

今後も、総合不動産グループとして常に30年後、50年後を見据え、持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けるため、サステナビリティ・ESGの取組みを積極的に進めてまいります。

※1 プレスリリース：<https://www.nomura-re-hd.co.jp/cfiles/news/n2021092701870.pdf>（2021年7月30日発表）

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

【ご参考】サステナビリティポリシー「Earth Pride-地球を、つなぐ-」について

当社グループは、世界共通の課題である気候変動や災害の激甚化、人々の価値観の多様化など、経営・事業環境における変化を新たな成長機会と捉え、当社グループにおける 2050 年のありたい姿としてサステナビリティポリシー「Earth Pride-地球を、つなぐ-」を策定いたしました。

Earth Pride

地球を、つなぐ

人間らしさ

テクノロジーがますます発展し、人々の暮らしと融合する世の中において、人間の存在意義や人の幸せとは何かを問い続ける。人と人がお互いを支えつながら、人間らしい暮らしを提供し、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献する。

自然との共生

未来を生きる子どもたちと自然豊かな地球のために、人間の経済活動をもう一度見つめ直し、本来あるべき美しい環境との共生を実現する。地球の限りある資源を大切にしながら、自然と人間との関係をより良いものへと変えていく。

共に創る未来

多種多様な組織・人が共に手をとりあい、それぞれの枠を超えて今までにない価値を生み出す。そして、背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会をめざし、暮らし・ビジネス・働き方において、常識にとらわれず挑戦し続ける。

<2030 年までの重点課題（マテリアリティ）>

2050 年のサステナビリティポリシーを実現するために、2030 年までに特に取り組むべき重点課題として、「ダイバーシティ&インクルージョン」、「人権」、「脱炭素」、「生物多様性」、「サーキュラーデザイン」の 5 つを特定いたしました。^{※2} また、重点課題の進捗を測るために、気候変動や人権・ダイバーシティなどに関して計測する指標（KPI）を設定いたしました。^{※3}



※2 GRI スタンドアードのマテリアリティ特定プロセスを踏襲しています。

※3 計測指標（KPI）の詳細については、[こちら](#)をご参照ください。

<当社コーポレートサイト サステナビリティへの取組み>

<https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ